

### 3 事業実績報告書

#### (1) 難病相談・支援センター事業

ア 設置年月日

イ 利用時間

平日 9:00 ~ 16:00  
土曜日 : ~ :  
休祝日 : ~ :

(注) 事業内容に応じて利用時間が相違する場合には、それぞれ記載すること。

ウ 従事者内訳

| 事 項      | 配置人員 | 職 種        | 設置月数                                   | 備 考                     |
|----------|------|------------|--|-------------------------|
| 難病相談・支援員 | 2    | 保健師<br>看護師 | H16年4月～<br>(96ヶ月)<br>H17年4月～<br>(84ヶ月) | 相談事業、研修会開催<br>医療相談会開催、等 |
| 事務職員     |      |            |  |                         |
| その他      |      |            |  |                         |

(注) 備考欄には、従事者の職務内容を記載すること。

エ 活動内容

#### ①相談者・相談方法別相談件数（延べ件数）

| 事 項  | 相 談 者 |     |     |     | 相 談 内 容  |
|------|-------|-----|-----|-----|--|
|      | 患 者   | 家 族 | その他 | 計   |  |
| 電話相談 | 210   | 99  | 275 | 584 | 延べ相談内容件数は、828件。内訳は、センター事業関係(116)、患者会活動への協力(100)、生活支援態勢(91)、医療機関・医師(84)、就労(60)、経済(障害年金、等)(51)、病気の理解(46)、保健・医療・福祉(26)等 |
| 面 談  | 18    | 6   | 8   | 32  |  |
| メール  | 36    | 5   | 92  | 133 |  |
| その他  | 2     | 1   | 1   | 4   |  |
| 計    | 226   | 111 | 376 | 753 |  |

②相談者別・相談件数が多い疾患（上位5つ）

|     | 疾患名                      | 述べ件数 |
|-----|--------------------------|------|
| 患者  | 1 パーキンソン病                | 36   |
|     | 2 潰瘍性大腸炎                 | 17   |
|     | 3 抗リン脂質抗体症状群             | 14   |
|     | 4 ベーチェット病                | 13   |
|     | 5 クロウン病                  | 11   |
| 家族  | 1 クロウン病                  | 22   |
|     | 2 筋萎縮性側索硬化症（ALS）         | 12   |
|     | 3 顕微鏡的多発血管炎              | 12   |
|     | 4 多系統萎縮症（シャイ・ドレーガー症候群含む） | 5    |
|     | 5 潰瘍性大腸炎                 | 4    |
| その他 | 1 パーキンソン病                | 3    |
|     | 2 筋萎縮性側索硬化症（ALS）         | 63   |
|     | 3 脊髄小脳変性症                | 8    |
|     | 4 顕微鏡的多発血管炎              | 7    |
|     | 5 多系統萎縮症（シャイ・ドレーガー症候群含む） | 6    |
|     | 潰瘍性大腸炎                   | 5    |

③主な相談内容（上位5つ）

| 主な相談内容   | 述べ件数 |
|--|------|
| 1 センター事業関係   | 116  |
| 2 患者会活動への協力（患者会からの相談、運営支援、連携等）   | 99   |
| 3 療養生活支援態勢（療養者と支援者間の調整、支援者間の連絡等）   | 91   |
| 4 医療機関・医師（専門医がいる医療機関、セカンドオピニオン等）   | 84   |
| 5 就労（就職活動、職場の理解、就労中の自己管理等）   | 60   |
| <p>（備考）</p> <p>センター事業関係では、意思伝達手段獲得支援事業に関する相談が多かった。患者会活動への協力では、設立時の相談、運営上の相談、トラブルに対する対処の相談があった。医療機関・医師の相談では、特に脳脊髄液減少症の専門医に関する相談が多かった。就労相談では、障害者雇用（公務員、正規雇用）で入職した患者が仕事量の負担軽減に対する配慮をしてもらえずに強迫神経症を発病したために、職員課の職員から誤解を受け、配慮のない発言のために精神的な苦痛を受けたとの相談があった。公務員のために労働局は介入できなかった。センターでも本人、家族からの面接や電話での相談を受けるのみの対応だった。特定疾患であるがゆえの偏見から誤解が生じていると推察された。</p> |      |

(地域交流会等支援)

| 事 項                           | 参加者数 | 内 容  |
|-------------------------------|------|--|
| ベーチェット病友の会群馬県支部 医療講演会<br>【参加】 |      | 日時：平成23年9月18日(日)<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 201会議室<br>講演：「ベーチェット病について」<br>講師：大谷 倫裕 先生(群馬大学医学部附属病院眼科 准教授)      |
| 日本ALS協会群馬県支部交流会【参加】           |      | 日時：平成23年10月1日(土)<br>場所：群馬県社会福祉総合センター B01会議室  |
| 群馬県難病団体連絡協議会 難病よろず相談室<br>【協力】 |      | 日時：平成23年9月4日(日) 午後1時～3時<br>場所：藤岡市総合学習センター 3階 北307・308学習室(藤岡市藤岡1485)<br>内容：難病よろず相談室                     |
| 群馬県難病団体連絡協議会 難病よろず相談室<br>【協力】 |      | 日時：平成24年2月5日(日) 午後1時～3時<br>場所：館林市総合福祉センター(館林市苗木町2452-1)<br>内容：難病よろず相談室                                 |
| 日本ALS協会群馬県支部【協力】              |      | 内容：ホームページ管理、更新   |
| 希少難病フォーラム2011 東京会議<br>【協力】    |      | 日時：平成23年9月24日(土) 午後1時～4時20分<br>場所：東京国際フォーラム ホールD7(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)<br>主催：特定非営利活動法人 希少難病患者支援事務局(SORD) |

(注) 内容欄には、実施期日、時間、対象者及び具体的な実施内容を記載すること。

(就労支援)

就労に関する相談は、延べ件数60件(前年比18件増)であった。

主な相談内容は以下の通りで、相談支援員は療養と就労の両立のために、助言や情報提供を行った。

- ①就職活動(病状を自己管理しながら自分にできる仕事を探すこと、面接時に病気を告知すること、ハローワークでの対応方法に関して、等)(15件)
- ②労働条件、就労の継続(病気を発病し治療中だが、現在の仕事を継続すること、職場への説明方法に関して、等)(10件)
- ③難病に対する理解、病気を理由とした不当な扱い(病気を理由として就労の継続が困難な状況になった時の職場とのやりとりに関して、等)(10件)
- ④就労時の体調の調整(体調を崩したときに上司に病気を告知すべきか、等)(4件)
- ⑤難病療養者への就労支援(どのように支援したらよいか、等)(2件)

(注) 実施回数が多かった就労支援内容の上位5つを記載するとともに、( )に件数を記載すること。

## (講演・研修会)

| 事 項                                   | 参加者数 | 内 容  |
|---------------------------------------|------|--|
| 対象者：患者会相談員、難病相談支援センター相談支援員、患者、家族、支援者等 |      |  |
| 難病相談技術研修会①                            | 6名   | 日時：平成23年6月17日（金）午前10時～12時<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 501会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：①相談で受けた事例について ②その他  |
| 難病相談技術研修会②                            | 19名  | 日時：平成23年7月23日（土）午前1時30分～<br>3時30分<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 501会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：「障害年金をご存じですか？あきらめていません<br>か？Ⅱ」<br>講師：塚越 良也 先生（社労企画 代表 社会保険労<br>務士） |
| 難病相談技術研修会③                            | 27名  | 日時：平成23年11月11日（金）午前10時～11<br>時30分<br>場所：群馬県社会福祉総合センター B01会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：「難病の療養相談の受け方」<br>講師：依田 裕子 先生（県こころの健康センター 相<br>談援助係長 技師長）           |
| 難病相談技術研修会④                            | 25名  | 日時：平成23年12月10日（土）午後1時30分～<br>3時<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 501会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：「話し方セミナー」<br>講師：清水 由美 先生（86.3 FM GUNMA アナウンス<br>セミナー講師）              |
| 難病相談技術研修会⑤                            | 7名   | 日時：平成24年1月20日（金）午前10時～12時<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 501会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：①事例検討 ②情報交換  |
| 難病相談技術研修会⑥                            | 7名   | 日時：平成24年2月18日（土）午前10時～12時<br>場所：群馬県社会福祉総合センター 203A会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：「障害年金をご存じですか？あきらめていません<br>か？Ⅲ」<br>講師：塚越 良也 先生（社労企画 代表 社会保険労<br>務士）        |

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 療養講演会 | 43名 | 日時：平成24年2月19日（日）午後1時30分～3時30分<br>場所：群馬県社会福祉総合センター B01会議室<br>対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>2名、他希望者<br>内容：「病やケガと、いかに向き合うか」～メンタルトレーニングの応用～<br>講師：高橋 浩一 先生（順和会 山王病院 脳神経外科副部長） |
|-------|-----|---|

対象者：難病担当保健師等

|                      |  |   |
|----------------------|--|---|
| 難病対策専門研修会①<br>（事例検討） |  | 日時：平成23年11月15日（火）午後1時30分～4時<br>場所：群馬県庁 141会議室<br>対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員<br>内容：各保健福祉事務所の担当者より提出された事例について検討<br>助言者：牛込 三和子 先生（群馬パース大学 教授）<br>飯田 苗恵 先生（群馬県立県民健康科学大学 講師） |
| 難病対策専門研修会②<br>（事例検討） |  | 日時：平成24年2月27日（月）午後1時30分～4時<br>場所：群馬県庁 151会議室<br>対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者<br>群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員<br>群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員<br>内容：各保健福祉事務所の担当者より提出された事例について検討<br>助言者：牛込 三和子 先生（群馬パース大学 教授）<br>飯田 苗恵 先生（群馬県立県民健康科学大学 講師）  |

（注）内容欄には、実施期日、時間、対象者及び具体的な実施内容を記載すること。

| 難病（特定疾患）医療相談会（個別） |                |   |                     |
|-------------------|----------------|---|---------------------|
|                   |                | 内容：医療講演、交流会、個別相談<br>開催時間：13：30～15：30<br>開催場所：群馬県社会福祉総合センター<br>*医師の所属は、群馬大学医学部附属病院 |                     |
| 対象疾患              | 参加人数           | 開催日   | 講師                  |
| 膠原病               | 患者 1名<br>家族 6名 | 平成23年 5月17日（月）  | 石川 治<br>（皮膚科）       |
| 心筋症（肥大型、拡張型、拘束型）  | 患者 2名<br>家族 3名 | 平成23年 9月12日（月）  | 新井 昌史<br>（循環器内科）    |
| 膠原病               | 患者 1名<br>家族 0名 | 平成23年10月18日（火）  | 廣村 桂樹<br>（腎臓リウマチ内科） |

|         |                |                |                 |
|---------|----------------|----------------|-----------------|
| パーキンソン病 | 患者 3名<br>家族 2名 | 平成23年11月 7日(月) | 藤田 行雄<br>(神経内科) |
| 多発性硬化症  | 患者 2名<br>家族 1名 | 平成23年12月 5日(月) | 水野 裕司<br>(神経内科) |

(会議等)

- 1) 平成23年度障害者関係業務担当者会議  
 日時：平成23年5月30日(月) 午後1時～5時  
 場所：群馬労働局 902会議室  
 対象：労働局障害者関係業務担当者(群馬県産業経済部労働政策課、等)  
 内容：関係機関の説明  
     研修①「難病について」(金古、川尻)  
     研修②「発達障害について」  
 主催：群馬労働局職業安定部
- 2) 平成23年度難病療養支援ネットワーク会議  
 日時：平成24年3月14日(水) 午後2時～4時  
 場所：前橋市総合福祉会館 2階 社会適応訓練室  
 対象：前橋管内で難病支援をしている訪問看護ステーション、病院、関係者  
 内容：①前橋赤十字病院神経内科の紹介  
     ②関係機関からの情報提供・報告等  
     ③意見交換  
 主催：前橋市保健所
- 3) 厚生労働省 難病在宅看護・介護等ワーキンググループ  
 日時：平成24年2月24日(金) 午後1時～4時  
 場所：財務省(合同庁舎4号館) 123会議室

(その他)

- 研修会協力等 【講師、助言者等として参加】
- 1) 平成23年度難病対策専門研修会 【協力】  
 日時：平成23年6月2日(木) 午後1時30分～5時  
 場所：群馬大学共用棟 6階 在宅療養支援開発室  
 対象：前橋市保健所・高崎市保健所・各保健福祉事務所難病担当者  
 内容：「難病相談・支援センターに求められる難病担当保健師へのサポートに関する研究」(川尻)
  - 2) 平成23年度特定疾患医療従事者研修 【協力】  
 日時：平成23年10月25日(火) 午後1時30分～4時  
 場所：国立保健科学院 2階 交流対応大会議室(埼玉県和光市南2-3-6)  
 対象：各都道府県の難病相談・支援センター 相談・支援員 32名  
 内容：「難病患者の実態把握の手法に関する講義 相談・支援を的確にすすめていくケースマネジメント(問題解決)の手法」(川尻)
  - 3) 平成23年度ホームヘルパー障害関係研修 【講義】  
 日時：平成23年11月12日(土) 午後1時～4時30分  
 場所：群馬県社会福祉総合センター 6階 ロビー  
 対象：ホームヘルパー  
 内容：「なぜコミュニケーション支援が必要なのか」(川尻)  
     「代替コミュニケーションについて～文字盤を使ってみよう～」(岡田)
  - 4) 平成23年度難病患者等ホームヘルパー養成研修(基礎課程I) 【講義】  
 日時：平成24年1月27日(金)  
 場所：群馬県庁 281会議室

対象：ホームヘルパー（難病入門・基礎課程Ⅰ受講者）

内容：「難病の基礎知識Ⅰ－①」（金古）

「難病患者の心理及び家族の理解」（川尻）

5) 伊勢崎地域リハビリテーション広域支援センター事業 平成23年度研修会 【講義】

日時：平成24年度3月17日（土）午後1時30分～4時50分

場所：美原記念病院 講堂（伊勢崎市太田町366）

対象：地域の支援者など

内容：「群馬県における難病療養者コミュニケーション支援の取り組みについて」（川尻）

「文字盤によるコミュニケーション支援」（岡田）

6) 患者団体運営研修セミナー2011「患者会リーダー養成研修会」【講義】

日時：平成24年3月4日（日）午前10時40分～11時40分

場所：セミナーハウス クロス・ウェーブ東中野 2階（東京都中野区東中野4-5-14）

対象：患者会リーダーまたはその候補者

内容：「相談事例を通して」（川尻）

難病相談・支援員 連絡会（関東近県の難病相談支援員対象：事務局は群馬県）

1) 日時：平成23年7月12日（火）午後1時～4時10分

場所：東京都難病相談・支援センター（東京都渋谷区広尾5-7-1）

対象：関東（近隣の県を含む）の難病相談・支援センター 相談・支援員 他

参加人数：18名

内容：情報交換（震災時の報告）、研修

研修テーマ：「東日本大震災、東京都で起こったことと、その対応から学んだこと」

研修講師：小川 一枝 先生（東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室 難病医療専門員）

助言者：小川 一枝 先生、大島 真紀 先生、長沢 つるよ 先生（東京都医学総合研究所

難病ケア看護研究室 難病医療専門員）

2) 日時：平成24年2月23日（木）午後1時～4時30分

場所：東京都難病相談・支援センター（東京都渋谷区広尾5-7-1）

対象：関東（近隣の県を含む）の難病相談・支援センター 相談・支援員

参加人数：17名

内容：研修、情報交換

研修テーマ：「人格障害的な様態への対応を学ぶ」

研修講師：井上 悟 先生（東京都立中部総合精神保健福祉センター 副所長）

群馬県難病対策事業への協力（保健福祉事務所が開催する療養相談会への協力）

1) 保健福祉事務所等が開催する療養相談会への協力

① 療養相談会（クローン病・潰瘍性大腸炎）

日時：平成23年9月16日（金）午後1時30分～3時30分

場所：前橋市保健センター 4階 集団指導室

内容：講演「炎症性腸疾患について ～クローン病を中心に～」、交流会

講師：家崎 桂吾（家崎医院 院長）

対象者：療養者およびその家族

主催：前橋市保健所

② 療養相談会（クローン病・潰瘍性大腸炎）

日時：平成22年10月5日（水）午前10時～午後1時30分

場所：前橋市保健センター 3階 栄養指導室

内容：調理実習「お腹にやさしい簡単メニュー ～クローン病を中心に～」、昼食・交流会

担当：前橋市健康増進課職員（管理栄養士、保健師他）

対象者：療養者およびその家族

主催：前橋市保健所

③ 療養相談会（特発性拡張型心筋症）

日時：平成23年10月7日（金）午後2時～4時

場所：渋川市中央公民館 2階 講義室  
内容：講話「特発性拡張型（うっ血型）心筋症の食事のポイントについて」、交流会  
講師：木下 友紀 先生（渋川保健福祉事務所 管理栄養士）  
対象者：療養者およびその家族  
主催：渋川保健福祉事務所

- ④ 療養相談会（特発性拡張型心筋症）  
日時：平成23年11月1日（火）午後1時30分～3時30分  
場所：利根沼田保健福祉事務所 2階 リハビリ室  
内容：講話「特発性拡張型（うっ血型）心筋症の食事のポイントについて」、交流会  
講師：山本 正一 先生（利根沼田保健福祉事務所 管理栄養士）  
対象者：療養者およびその家族  
主催：利根沼田保健福祉事務所

- ⑤ 療養相談会（潰瘍性大腸炎・クローン病）  
日時：平成23年11月9日（水）午後1時30分～3時30分  
場所：高崎市総合保健センター 2階 第1会議室  
内容：講演「潰瘍性大腸炎・クローン病について ～病気の理解と療養のポイント～」  
講師：工藤 智洋 先生（高崎総合医療センター 消化器内科）  
対象者：療養者とその家族  
主催：高崎市保健所

- 2) 平成23年度神経難病医療研修会への協力  
日時：平成23年10月24日（月）午後6時30分～8時30分  
場所：群馬県庁 2階 ビジターセンター  
内容：「ALSの終末期ケア」  
講師：荻野 美恵子 先生（北里大学医学部神経内科学 講師）  
主催：群馬県、群馬県医師会

厚生労働省研究班への協力（厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究班」）

- 1) 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 【参加】  
「希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究班」ワークショップ 東日本大震災と難病～今何をすべきか  
日時：平成23年8月28日（日）午前10時～午後4時  
場所：都市センターホテル 3階 コスモスホール（東京都千代田区平河町2-4-1）

学会発表等

- 1) 第16回日本難病看護学会学術集会 【参加】  
日時：平成23年8月26日（金）～27日（土）  
場所：昭和大学医学部附属看護専門学校（東京都品川区旗の台1-2-26）  
テーマ：「神経筋疾患のケアを極める」
- 2) 第8回日本難病医療ネットワーク研究会 【発表】  
日時：平成23年10月28日（金）～29日（土）  
場所：長崎大学医学部良順会館・ポンペ会館（長崎市坂本1丁目12番4号）  
演題：「意思伝達装置の開発（第2報）ー群馬県における取り組み」  
演題：「群馬県におけるALS療養者コミュニケーション支援の新規事業の立ち上げについて」
- 3) 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 【発表】  
「希少性難治性疾患患者に関する医療向上及び患者支援のあり方に関する研究班」平成23年度班会議 分科会1「医療等の提供体制のあり方」  
日時：平成23年12月17日（水）  
場所：都市センターホテル 3階 コスモスホール2（東京都千代田区平河町2-4-1）  
演題：「難病相談・支援センター間での難病相談・支援員の活動交流」
- 4) 全国難病センター研究会 第17回研究大会（徳島）【発表】  
日時：平成24年3月10日（土）～11日（日）



場所：とくぎんトモニプラザ（徳島市徳島町城内2番地1）  
演題：「難病相談・支援センター間での難病相談・支援員の活動交流」

#### 支援機関、教育機関への協力

- 1) 群馬県立県民健康科学大学 平成23年度保健医療チーム連携論Ⅱ（実習）の受け入れ  
日時：平成23年7月22日（金）  
場所：群馬県難病相談支援センター（群馬大学医学部プロジェクト棟MP5-01）  
内容：群馬県難病相談支援センター・群馬県神経難病医療ネットワークの活動と地域支援機関との連携について  
①群馬県難病相談支援センターの事業について（川尻）  
②意思伝達手段獲得支援・貸出事業について（岡田）

#### 群馬県におけるコミュニケーション支援ネットワーク

- 1) 平成23年度 コミュニケーション支援に関する研修会  
日時：平成23年11月19日（土）午後2時～4時  
場所：前橋テルサ 4階 第3研修室  
内容1：「全国のコミュニケーション支援に関する実態調査の結果について」  
講師：井村 保 先生（中部学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授）  
内容2：「コミュニケーション支援の手法について」  
講師：日向野 和夫 先生（川村義肢株式会社 事業開発本部）  
内容3：「群馬県におけるコミュニケーション支援の課題について」  
講師：菊地 豊 先生（脳血管研究所美原記念病院 神経難病リハビリテーション科 理学療法士）  
対象：コミュニケーション支援に関わる支援者  
参加人数：23名  
主催：群馬県難病相談支援センター

#### 2) 意思伝達手段獲得支援事業（神経難病医療ネットワーク補助職員担当）

##### （1）事業の概要

平成16年6月から筋萎縮性側索硬化症を対象として意思伝達装置を試用する意思伝達装置貸出事業を開始し保健師と連携をとりながら行っている。さらに平成18年6月から専任サポーターによる在宅療養者の意思伝達装置の操作を支援する訪問事業を開始した。

##### （2）意思伝達装置貸出・操作方法指導（面接・訪問等による）

- ①対象者：神経・筋難病（筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症）、その他
- ②指導内容：・意思伝達方法（装置）の選択について支援者間で検討する。  
・レットチャットや伝の心のような主な意思伝達装置の指導は、〈基本プログラム〉と〈応用プログラム〉の2コース。  
内容の詳細については、身体状況や能力、在宅での操作援助者の存在などの諸条件を考慮し、支援者間で検討して決定する。
- ③指導回数：指導回数は、現在のところ原則として以下のように取り決めている。  
〈基本プログラム〉 レットチャットの場合：3回  
伝の心の場合：5回  
〈応用プログラム〉 個別に対応。
- ④連携している支援機関等：保健所、県立義肢製作所、市町村障害福祉課、県心身障害者福祉センター、訪問看護ステーション、パソコンボランティア、病院、装置開発者、販売会社、等。

#### 広報活動

- 1) 求職者のためのハンドブック「職Navi ぐんま」作成に関する取材・調査【協力】  
日時：平成24年1月25日（水）午前10時  
「職Navi ぐんま」：障害・難病（特定疾患）をお持ちのための皆さまのためのDIGESTパンフレット版に掲載された。
- 2) 群馬県難病相談支援センターの広報を目的として、ホームページを公開している。更新は月3回